

# 『過ぎ去る夏に』 寸評

- ・さわやかなニューミュージック
- ・メロディが後半二声になりもりあがり演出
- ・シンプルで過不足ない編成にまとめ、各楽器の役割が明確に配されてある
- ・m.15のブレイク、m.8のキメ、m.9-11の伴奏リズム変化と  
ききどころをきちんとおさえてある
- ・タイトルも内容とよい関係にある

完成度をさらに上げるために

- ・シンコペーションの記譜はタイを利用しよう



- ・ベースのコード感がきちんと聞こえてくるようにしたい
  - m.12はFの転回形ではなく基本形で
  - m.13はF# $\flat$ 7で
  - m.14はC/Gにする
- ・ギターのコードは実際に演奏可能か確認しよう
- ・m.1 b.2 ギターの和音はCのまま

m.=measure 小節番号のことです。  
b.=beat 拍のことです。

メロディの展開が流れるようで快いです。

持庵 勉